

2023年度生物多様性に係る 愛知県とブラジル・サンパウロ州とのユース交流プログラム

<プログラムテーマ>

多様な主体による生態系保全の取組

(ユース世代やNPO、企業、自治体などが連携して実施する取組)

<参加者>

両地域のユース各5名

<事前学習会>

交流会に向けた事前学習として、10月27日東邦ガス株式会社知多緑浜工場を訪問し、学生や企業など多様な主体の連携により生物多様性保全を推進する「命をつなぐプロジェクト」の一環として管理されている企業ビオトープを見学。

<交流会（オンライン）>

○第1回交流会2023年11月24日（金）

愛知ユースからは、藤前干潟における取組や生態系ネットワーク協議会、県内で生物多様性保全に取り組むユース組織「GAIA」の活動などについて発表。

サンパウロユースからは、海洋生態系の保全や多様なグループへの環境教育などについて発表。

○第2回交流会2024年1月31日（水）

愛知ユースからは、「生物多様性についてどの程度一般市民が認知し、また、いかに無関心層を巻き込んでいくか」について発表（県の自然の特徴や2010年に名古屋市で開催されたCOP10をきっかけに展開された県内の生物多様性保全の取組など）。

サンパウロユースからは、サンパウロ州におけるコミュニティや文化的な背景を考慮した環境教育の重要性などについて発表。

<成果発表>

生物多様性ユース会議（2024年2月12日）において、県内のユースや多様な主体・世代に向けて発信。

<第1回交流会の様子>



<サンパウロユースの発表資料>

